取扱説明書

統合管理ソフト・パワソル Power-SOL

UPS モニタ for Windows
ユーザーズ・ガイド
【操作編（UPS モニタ）】

安全にお使いいただくために

●製品を使用する前に、必ずこのマニュアルをお読みください。
●注意事項を守って製品をご使用ください。
●このマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に保管してください。

表記について

本書では、本ソフトウェアを安全に正しくお使いいただき、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示を使用しています。**これらの絵表示の個所は必ずお読みください。**

●安全性に関する事項

	危険	指示を守らないと、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されることを示します。
	警告	指示を守らないと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。
	注意	指示を守らないと、人が傷害を負う可能性または物的被害のみが想定されることを示します。

●安全のために

	注意事項	安全のために、その行為を強制することを示しています。

2011 年 8 月 第 14 版

⑴本ソフトウェアおよび、本書の内容の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変する事は禁止されています。

⑵本書に記載されている各社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

⑶本ソフトウェアを使用した事によってシステムや機器に万一トラブルや故障が発生しても、弊社は原因の如何に関わらず一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

⑷本ソフトウェアの仕様および本書に記載されている事柄は、将来予告無しに変更する事があります。

⑸商品の内容については万全を期していますが、ご不審の点や誤り、本書の記載漏れなどお気づきの点がありましたら、弊社までご連絡ください。

⑹本ソフトウェアの CD-ROM 内には、本書記載以外の OS 対応版も同梱されています。本書記載以外の OS 対応版をご使用になる場合は、その OS 対応版の取扱説明書をご覧ください。

Copyright(C) Fuji Electric Co.,Ltd. All Rights Reserved.

UPS モニタ ユーザーズ・ガイド【操作編（UPS モニタ)】

目次

操作編 1
UPSモニタの概要 1
UPSモニタの基本操作 2
ファイルメニューの操作 6
設定 6
表示メニューの操作 16
簡易表示 16
データ表示 17
イベント発生時にポップアップ 18
イベント表示　昇順/降順 19
コントローラ情報 20
ヘルプメニューの操作 22
バージョン情報 22
マルチコントローラ機能 24
UPSコントローラ設定ツールの操作 27
UPSコントローラ設定ツールの起動 27
UPSコントローラ設定ツールの操作方法 28

操作編

UPSモニタの概要

■UPS モニタは、バックグラウンドで UPS と通信して UPS エクスプローラに情報と機能を提供します。また、電源の状態を監視し、警告表示、コンピュータのシャットダウン/再起動、各種(簡易)設定を行います。

注意事項

※ 電源障害による自動シャットダウンが開始される際に、UPS モニタはファイル名のついたファイルのみセーブします。ファイルの損失を避ける為に、新規のファイルにはすぐに名前をつける事を推奨します。

※ UPS モニタの各種設定を変更した場合に、再インストールや再起動する必要はありません。

※ 接点方式インタフェースの UPS では、以下の機能が制限されます。

・スケジュール運転機能

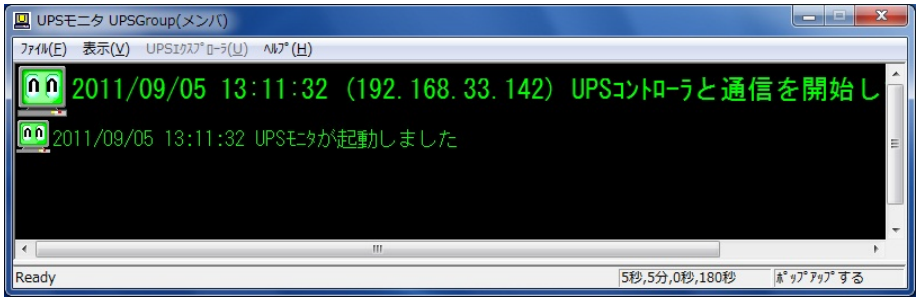
UPSモニタの基本操作

OS を起動すると、タスクトレイに UPS モニタアイコン が表示されます。

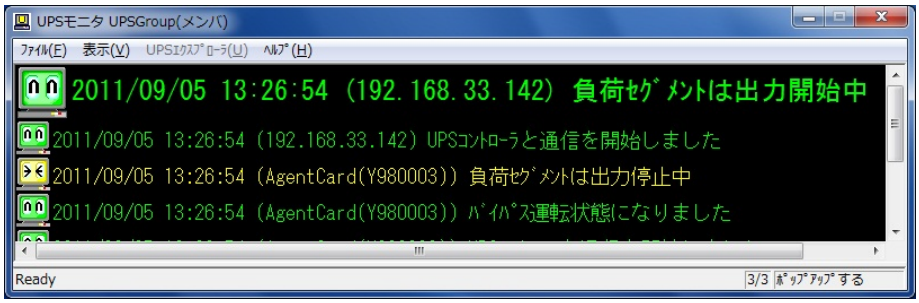
UPS モニタアイコンを選択すると、UPS モニタ画面が表示されます。

UPS モニタ(コントローラ)と UPS モニタ(メンバ)では多少画面の表示内容が異なります。UPS モニタ(非ネットワーク)の画面は UPS モニタ(コントローラ)と同様の表示内容です。

[UPS モニタ(コントローラ)画面例]



[UPS モニタ(メンバ)画面例]



[UPS モニタ(メンバ)画面例(マルチコントローラ機能使用時)]

【機能】

■UPS モニタ画面には、UPS の状態や電源状態のメッセージが表示されます。
表示されるメッセージについては、**UPS モニタ 付録編「付録 B イベントメッセージ一覧」**を参照してください。

■UPS モニタは、通常はバックグラウンドで動いています。
停電が発生すると、ポップアップの設定に従い UPS モニタ画面が表示され、メッセージが UPS モニタ画面に表示されます。その後、設定したシャットダウンタイミングの時間通りに、OS をシャットダウンし UPS の出力を停止します。
(接点方式インタフェースの UPS では出力停止は行われません)
シャットダウン動作の詳細は、**UPS モニタ 概要/運用編「シャットダウン/リブート動作」**を参照してください。

【操作】

メニューバー

機能名称	動作概要
ファイル	―
設定	UPS モニタ(コントローラ)及び UPS モニタ(非ネットワーク)設定画面(簡易設定画面)を表示します。 設定内容はシャットダウンタイミング、スケジュール運転、コマンド設定、通信設定、イベントログ、電源ログ、負荷セグメントです。 ※UPS モニタ(メンバ)ではこのメニューを選択できません。
閉じる	UPS モニタ画面を閉じます。UPS モニタバックグラウンドで動作している状態に戻ります。
表示	―
簡易表示	UPS モニタ(コントローラ)及び UPS モニタ(非ネットワーク)画面の表示内容を「簡易表示」にします。 ※UPS モニタ(メンバ)ではこのメニューを選択できません。
データ表示	UPS モニタ(コントローラ)及び UPS モニタ(非ネットワーク)画面の表示内容を「データ表示」にします。 ※UPS モニタ(メンバ)ではこのメニューを選択できません。
コントローラ情報	UPS モニタ(メンバ)が登録されているコントローラの情報を表示します。 ※UPS モニタ(コントローラ)及び UPS モニタ(非ネットワーク)にはこのメニューが表示されません。
イベント発生時にポップアップ	イベント発生時に、UPS モニタ画面をポップアップする/しないの設定をします。
イベント表示　昇順/降順	イベント表示の昇順/降順の設定をします。
UPS エクスプローラ	UPS エクスプローラを表示します。 ※UPS モニタ(メンバ)および UPS モニタ(非ネットワーク)ではこのメニューを選択できません。
ヘルプ	―
トピックの検索	UPS モニタのヘルプ画面を表示します。
バージョン情報	UPS モニタのバージョン情報を表示します。

画面下部のステータスバー

表示名称	表示内容
XX 秒,XX 分,XX 秒,XX 秒	シャットダウンタイミングの設定内容 ウインク時間、電源障害カウントダウン時間、AP 終了時間、システムをシャットダウンするまでに必要な時間の順番で表示されます。 ※2 つ以上の UPS コントローラを登録している UPS モニタ(メンバ)では表示されません。(「**表示**」の「**コントローラ情報**」メニューを選択し、シャットダウンタイミングの設定内容を確認して下さい。)
次回終了 ----/--/-- --:--	スケジュール運転で設定されている次回の終了時刻を表示します。 ※UPS モニタ(メンバ)では表示されません。
COMX、X	通信ポート及びボーレートの設定状態を表示します。 ボーレートは接点方式インタフェースの UPS では、「正負正」など、信号極性が表示されます。 ※UPS モニタ(メンバ)は表示されません。
シリアルまたは接点信号	「シリアル」または、接点方式インタフェースの UPS では「接点信号」と表示されます。 ※UPS モニタ(メンバ)では表示されません。
ポップアップ	UPS モニタ画面がイベント発生時にポップアップする/しないの設定において、現在の設定内容を表示します。
N/M	登録 UPS コントローラ数及び、通信確立している登録 UPS コントローラ数を表示します。(M：UPS 登録コントローラ数, N：通信確立している登録 UPS コントローラ数) ※2 つ以上の UPS コントローラを登録している UPS モニタ(メンバ)のみ表示されます。

タスクトレイ上の UPS モニタアイコン上で右クリックすると表示されるポップアップメニュー

機能名称	動作概要
UPS エクスプローラ	UPS エクスプローラを表示します。 ※UPS モニタ(メンバ)および UPS モニタ(非ネットワーク)はこのメニューを選択できません。
元のサイズに戻す	UPS モニタ画面を表示します。
イベント発生時にポップアップ	イベント発生時に、UPS モニタ画面をポップアップする/しないの設定をします。
計測ログサンプリング間隔	計測ログのサンプリング間隔を表示します。
バージョン情報	UPS モニタのバージョン情報画面を表示します。

注意事項

※UPS エクスプローラが起動中の場合、「ファイル」の「設定」メニューは選択できません。
UPS エクスプローラ画面側で設定するか、UPS エクスプローラ画面を終了してから選択して下さい。

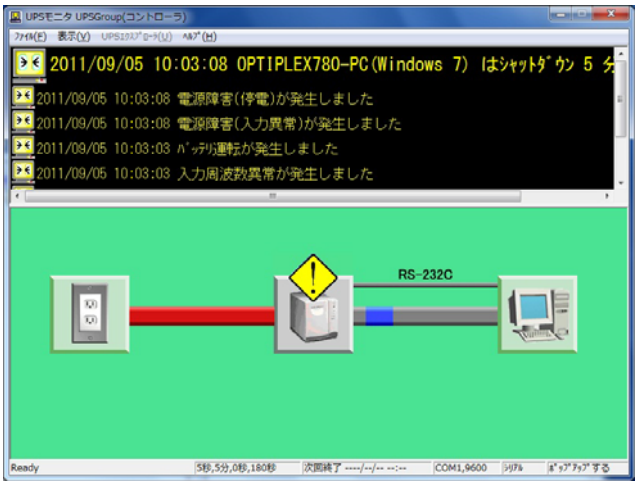
※簡易設定画面で設定する機能は、UPS 通信ポート設定およびイベントログ設定以外は全て UPS エクスプローラ画面側でも設定可能です。

【説明】

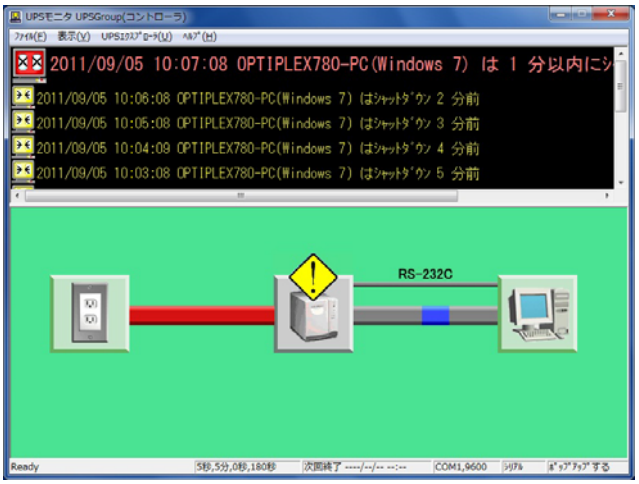
■UPS モニタの状態メッセージとアイコンは、色で区別されます。

緑色のアイコン とメッセージは、
正常な状態を示します。

黄色のアイコン とメッセージは、
UPS がバッテリ運転中、ハードウェア障害や
通信異常などの注意情報を示します。また、
OS シャットダウンのカウントダウン 2 分前
までを示します。



赤色のアイコン とメッセージは、
ハードウェア障害や 1 分以内に OS がシャット
ダウンする事などの警報情報を示します。



■UPS モニタ画面に表示されるメッセージは、UPS モニタ(コントローラ)と UPS モニタ(メンバ)では若干の違いがあります。UPS モニタ(コントローラ)の場合には、UPS との通信に関するメッセージが表示されます。
UPS モニタ(メンバ)の場合には、UPS コントローラとの通信状況に関するメッセージ、またイベントが発生した UPS コントローラの IP アドレスが付与されてメッセージが表示されます。
UPS モニタ(非ネットワーク)の場合は、UPS モニタ(コントローラ)と同じく UPS との通信に関するメッセージが表示されます。

ファイルメニューの操作

設定

UPS モニタ(コントローラ)及び UPS モニタ(非ネットワーク)画面の「ファイル」メニューから「設定」を選択すると表示されます。
各種設定(シャットダウンタイミング、スケジュール運転、コマンド設定、通信設定、イベントログ、電源ログ、負荷セグメント)を行います。

シャットダウンタイミング

UPS モニタ画面の「ファイル」メニューから「設定」を選択し、「UPS モニタ設定画面」上で「シャットダウンタイミング」のタブを選択すると表示されます。

［シャットダウンタイミング画面例］

【機能】

■シャットダウンタイミングの設定を行います。

【操作】

機能名称	動作概要
負荷セグメントコンボボックス	シャットダウンタイミングの設定を行う負荷セグメントを選択します。
ウインク時間設定スピンボタン	停電が発生してからメッセージを表示するまでの時間を秒単位で指定します。画面では、緑色で表示されています。 設定値は 0～999 秒です。 初期値は、5 秒です。
電源障害カウントダウン時間設定スピンボタン	OS の自動シャットダウンを行うまでの時間を分単位で指定します。画面では、黄色で表示されています。 設定値は 0～999 分です。 初期値は、5 分です。
AP 終了時間設定スピンボタン	アプリケーションを終了するまでの時間を秒単位で指定します。画面では、オレンジ色で表示されています。 設定値は 0～999 秒です。 初期値は、0 秒です。
システムをダウンするまでに必要な時間設定スピンボタン	OS がシャットダウンを開始してから、UPS を停止するまでの時間を秒単位で指定します。画面では、赤色で表示されています。 設定値は 0～999 秒です。 初期値は、180 秒です。
AP 終了時実行コマンドエディットボックス	アプリケーション終了時に実行するコマンドを入力します。
参照ボタン	AP 終了コマンドを設定する際に選択します。
適用ボタン	設定を保存します。
OK ボタン	設定を保存して画面を閉じます。
キャンセルボタン	設定を破棄して画面を閉じます。
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。

【説明】

■シャットダウンタイミングの設定

「ウインク時間」を緑色、「電源障害時カウントダウン時間」を黄色、「AP 終了時間」をオレンジ色、「システムをダウンするまでに必要な時間」を赤色で表示します。

シャットダウンタイミングを設定するには、「ウインク時間」を秒単位、「電源障害時カウントダウン時間」を分単位、「AP 終了時間」を秒単位、「システムをシャットダウンするまでに必要な時間」を秒単位で設定します。

この設定については、**UPS モニタ 概要/運用編「シャットダウン/リブート動作**」を参照してください。

注意事項

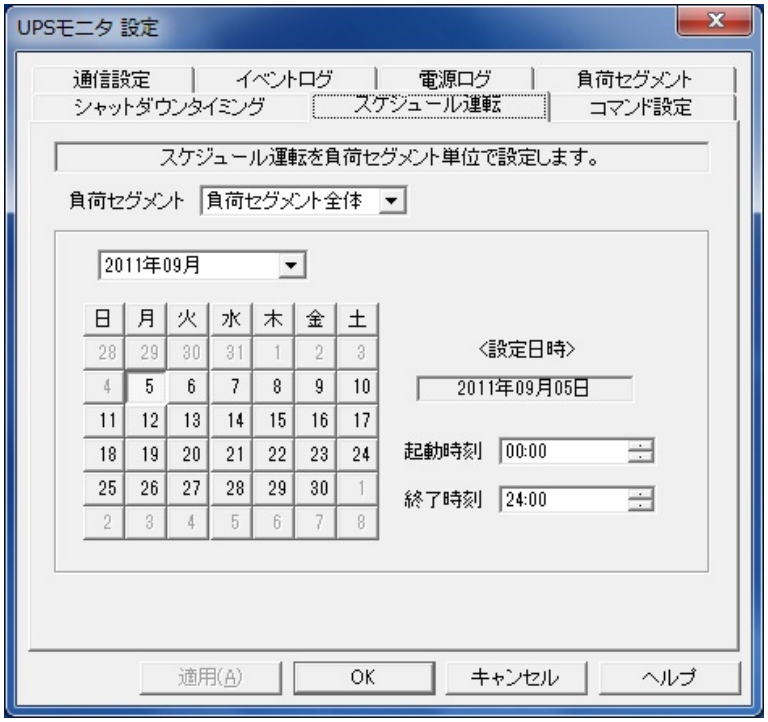
※接点方式インタフェースの UPS との組み合わせで使用した場合は、UPS の出力停止は行われません。

※「システムをシャットダウンするまでに必要な時間」は、UPS モニタがコンピュータのシャットダウンを完了するのに必要な時間よりも、充分大きい値に設定してください。

※UPS モニタ起動時、UPS と通信が確立されていない状態で UPS モニタ画面の「ファイル」メニューから「設定」を選択すると、「シャットダウンタイミング」のタブは未表示なので選択できません。簡易設定画面でシャットダウンタイミングの設定を行うには一度、簡易設定画面を閉じて、UPS と通信確立後(「UPS と通信を開始しました」というメッセージが UPS モニタ上に表示後)に再度 UPS モニタ画面の「ファイル」メニューから「設定」を選択して下さい。

スケジュール運転

UPS モニタ画面の「ファイル」メニューから「設定」を選択し、「UPS モニタ設定画面」から「スケジュール運転」のタブを選択すると表示されます。



［スケジュール運転画面例］

【機能】

■スケジュール運転の簡易設定を行います。詳細設定を行う場合は、UPS エクスプローラ画面側で設定して下さい。

■スケジュール運転では以下の機能を提供します。

・負荷セグメント単位で、設定した時刻にシステムの起動、シャットダウンおよび UPS 出力の開始、停止を実行します。

・カレンダ設定の機能により、最大 12 ヶ月分のスケジュール設定ができます。

【操作】

機能名称	動作概要
負荷セグメントコンボボックス	スケジュール設定を行う負荷セグメントを選択します。
年月コンボボックス	スケジュール設定を行う年月を選択します。
曜日ボタン	スケジュール設定を行う曜日を選択します。
日付ボタン	スケジュール設定を行う日を選択します。
設定日時テキストボックス	現在カレンダにて選択されている年月日を表示します。 複数日付ボタンが選択されている場合は、「複数選択状態です」と表示されます。
起動時刻設定スピンボタン	起動時刻を指定します。初期表示は 00:00 です。
終了時刻設定スピンボタン	終了時刻を指定します。初期表示は 24:00 です。
適用ボタン	設定を保存します。
OK ボタン	設定を保存して画面を閉じます。
キャンセルボタン	設定を破棄して画面を閉じます。
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。

【説明】

■スケジュール運転(日付)の設定

・スケジュール設定の画面を開いた時は当月を表示し、当日の日付ボタンを選択した状態になっています。スケジュールの表示可能な範囲は当月から当月の 11 ヶ月先までです。スケジュール設定が可能な範囲は当日以降 12 ヶ月間になります。

・指定日のスケジュールを設定する場合はその日付ボタンを選択します。

・カレンダの曜日ボタンを選択すると毎週スケジュールの設定になります。すべての選択した同一曜日のスケジュールを設定します。

■スケジュール運転(時刻)の設定

設定画面右半分はスケジュール運転の起動・終了時刻の設定をします。

・スケジュールが設定されていない日(初期表示)については、起動時刻が 00:00、終了時刻は 24:00 と表示されます。

注意事項

※スケジュールの設定項目には優先順位がありません。最後に設定した内容が有効になります。UPS エクスプローラで設定した場合も同様です。

※本画面(UPS モニタ画面からのスケジュール設定)では、毎日及び毎週のスケジュール設定はサポートしていません。毎日及び毎週のスケジュール設定を行う場合は、UPS エクスプローラ側のスケジュール設定画面で設定して下さい。(**UPS モニタ 操作編(エクスプローラ編)「スケジュール設定」を参照してください。**)
負荷セグメントの設定を変更すると、スケジュール設定の内容はすべてクリアされ、デフォルト値に戻りますので注意してください。また、必要に応じて再度スケジュール設定をしてください。

※UPS モニタ起動時、UPS と通信が確立されていない状態で UPS モニタ画面の「ファイル」メニューから「設定」を選択すると、「スケジュール」のタブは未表示なので選択できません。簡易設定画面でスケジュールの設定を行うには一度、簡易設定画面を閉じて、UPS と通信確立後(「UPS と通信を開始しました」というメッセージが UPS モニタ上に表示後)に再度 UPS モニタ画面の「ファイル」メニューから「設定」を選択してください。

※接点方式インタフェースの UPS では、この機能を利用できません。

※スケジュール運転による小型単相 UPS 出力停止期間中でも小型単相 UPS 本体の動作は継続します。この間に停電や電源設備メンテナンス等による入力障害が発生すると、小型単相 UPS 本体はバッテリ運転に切替りますが、最終的には放電によって停止します。
この様な事態を避けるために、長期休暇や電源設備メンテナンスの際には小型単相 UPS 本体による停止操作を行ってください。

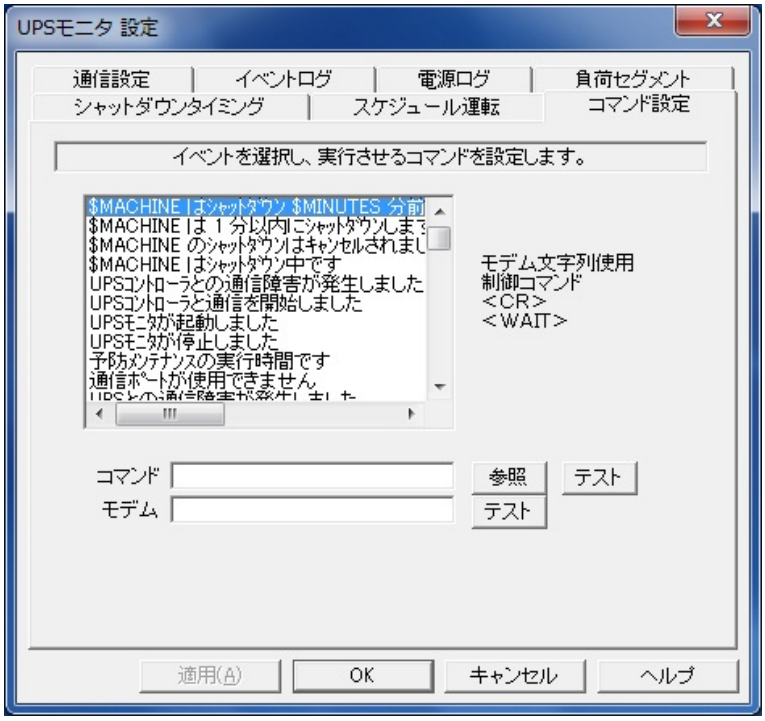
効率良くスケジュール設定の作業をすすめるためには、各スケジュールの設定方法をよく理解して、共通する設定内容の数が多いものから設定していく必要があります。
以下に、スケジュール運転の例と設定の手順について説明します。

スケジュール運転の設定例

設　定　内　容		スケジュール設定の手順
指定日	2001 年 11 月 23,24,25 日は終日停止にします。	スケジュール設定の画面を開き、指定日スケジュールを選択し、11 月 23,24,25 日の運転時間を起動時刻 24:00、終了時刻 00:00 に設定します。 設定後、「適用」ボタンを選択するか「OK」ボタンを選択して画面を閉じます。

コマンド設定

UPS モニタ画面の「ファイル」メニューから「設定」を選択し、「UPS モニタ設定画面」から「コマンド設定」のタブを選択すると表示されます。



［コマンド設定画面例］

【機能】

■警告イベント発生時にコマンド(プログラムやバッチファイル)を実行できます。

■警告イベント発生時にモデムへのコマンド送信ができます。

【操作】

機能名称	動作概要
イベントリスト	コマンド設定あるいはモデムへのコマンド送信を行うイベントメッセージを選択します。
コマンドエディットボックス	実行するプログラムのパスとファイル名を指定します。
参照ボタン	実行するプログラムファイルを画面上から選択します。選択されたファイル名及びそのパスがコマンドに設定されます。
テストボタン	入力したコマンド(プログラムやバッチファイル)をテスト実行します。
モデムエディットボックス	モデムに送信するコマンドを入力します。
テストボタン	入力したコマンドをモデムにテスト送信します。
適用ボタン	設定を保存します。
OK ボタン	設定を保存して画面を閉じます。
キャンセルボタン	設定を破棄して画面を閉じます。
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。

【説明】

■警告イベント発生時のコマンド実行

指定した警告イベントが発生した時に、指定したプログラムやバッチファイルを実行する事が可能です。

警告イベント発生時のコマンド実行を設定するには、

①イベントメッセージを選択します。

②実行したいプログラムのパスとファイル名を入力します。「参照」ボタンでプログラムファイルのパスを入力することもできます。

コマンドの実行を確認する場合は、「テスト」ボタンを選択します。

③適用または「OK」ボタンを選択し、設定を保存します。

■警告イベント発生時のモデムへのコマンド送信

指定した警告イベントが発生した時に、モデムへコマンドを送信する事が可能です。

ヘイズ互換モデムであれば、AT コマンドを記述します。

警告イベント発生時のモデムへのコマンド送信を設定するには、

①イベントメッセージを選択します。

②モデムへ送信する文字列を入力します。モデムへの送信を確認する場合は、「テスト」ボタンを選択します。

例)ATDT 0,0123456789RETWAIT$MESSAGE$RET$WAIT

文字列は、「代入変数」に表示されている変数が使用可能です。

③適用あるいは「OK」ボタンを選択し、設定を保存します。

注意事項

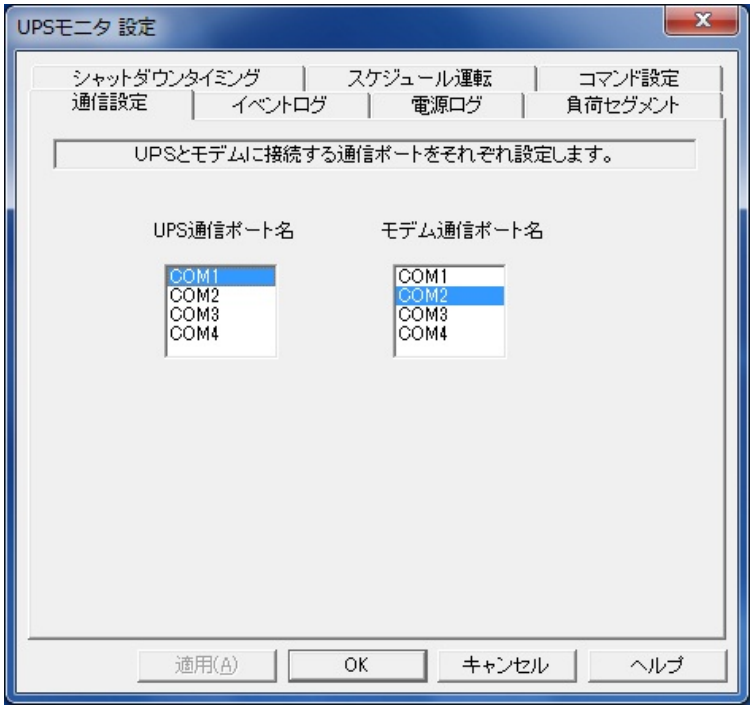
※警告イベントは UPS により異なります。

詳細は、**UPS モニタ 付録編「付録 B イベントメッセージ一覧」**を参照してください。

※UPS モニタ起動時、UPS と通信が確立されていない状態で UPS モニタ画面の「ファイル」メニューから「設定」を選択すると、「コマンド設定」のタブは未表示です。簡易設定画面でコマンド設定を行うには一度、簡易設定画面を閉じて、UPS と通信確立後(「UPS と通信を開始しました」というメッセージが UPS モニタ上に表示後)に再度 UPS モニタ画面の「ファイル」メニューから「設定」を選択して下さい。

通信設定

UPS モニタ画面の「ファイル」メニューから「設定」を選択し、「UPS モニタ設定画面」から「通信設定」のタブを選択すると表示されます。



［通信設定画面例］

【機能】

■通信設定の設定を行います。

【操作】

機能名称	動作概要
UPS 通信ポート名 テキストボックス	UPS が接続されている通信ポートを選択します。
モデム通信ポート名 テキストボックス	モデムが接続されている通信ポートを選択します。
適用ボタン	設定を保存します。
OK ボタン	設定を保存して画面を閉じます。
キャンセルボタン	設定を破棄して画面を閉じます。
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。

【説明】

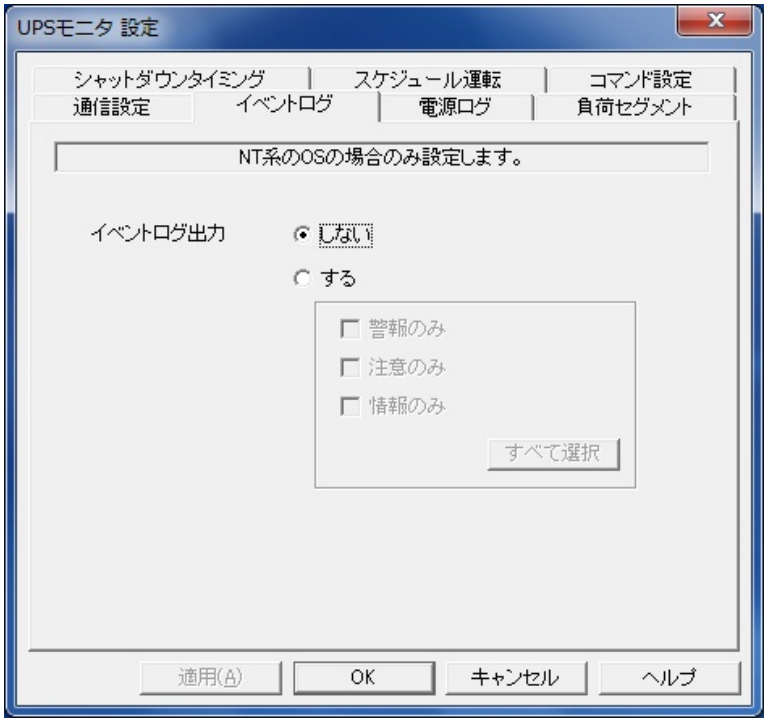
■通信ポートは COM1～COM4 までの表示及び選択となります。

■UPS 通信ポートとモデム通信ポートにて同一の通信ポートを選択することはできません。
モデム通信ポート名で現在選択されている通信ポートを UPS 通信ポートとして設定する場合は、モデム通信ポートを一度、現在選択されていない通信ポートに設定し解除してから、UPS 通信ポートを設定して下さい。

■「適用」ボタンを選択するか、「OK」ボタンを選択して閉じると、設定内容が直に反映されます。再起動する必要はありません。

イベントログ

UPS モニタ画面の「ファイル」メニューから「設定」を選択し、「UPS モニタ設定画面」から「イベントログ」のタブを選択すると表示されます。



［イベントログ画面例］

【機能】

■イベントログの出力設定を行います。

【操作】

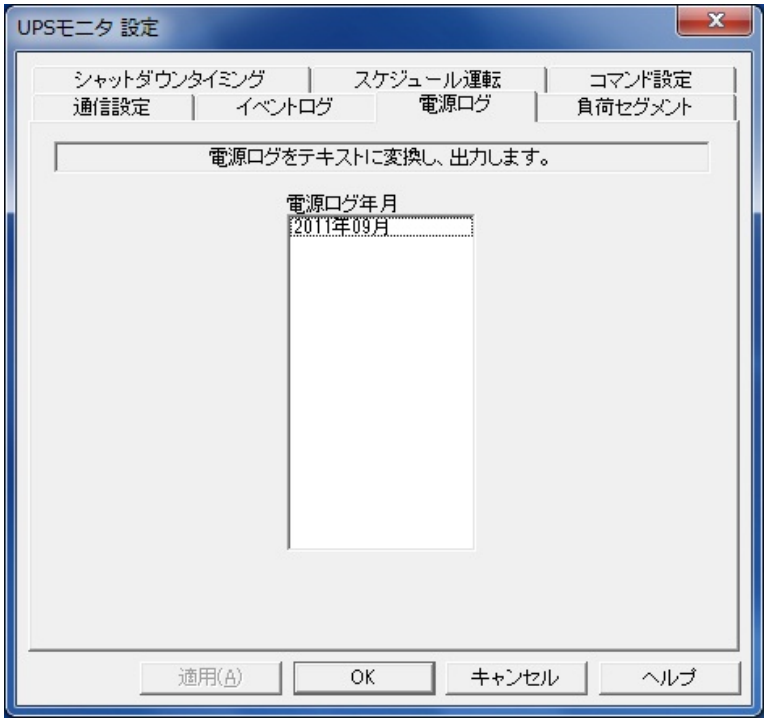
機能名称	動作概要
イベントログ出力しない ラジオボタン	イベントログを出力しません。
イベントログ出力する ラジオボタン	イベントログを出力します。
警報のみチェックボックス	警報のみイベントログに出力します。
注意のみチェックボックス	注意のみイベントログに出力します。
情報のみチェックボックス	情報のみイベントログに出力します。
すべて選択ボタン	警報、注意、情報を選択します。
適用ボタン	設定を保存します。
OK ボタン	設定を保存して画面を閉じます。
キャンセルボタン	設定を破棄して画面を閉じます。
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。

【説明】

■イベントログ出力するに設定すると、選択したイベントの情報がシステムログに出力されます。

電源ログ

UPS モニタ画面の「ファイル」メニューから「設定」を選択し、「UPS モニタ設定画面」から「電源ログ」のタブを選択すると表示されます。



［電源ログ画面例］

【機能】

■電源ログをテキストに変換し、ファイル出力します。

【操作】

機能名称	動作概要
電源ログ年月リスト	テキストファイルに変換したい電源ログを選択します。
適用ボタン	選択した電源ログをテキストファイルに出力します。
OK ボタン	画面を閉じます。
キャンセルボタン	設定を破棄して画面を閉じます。
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。

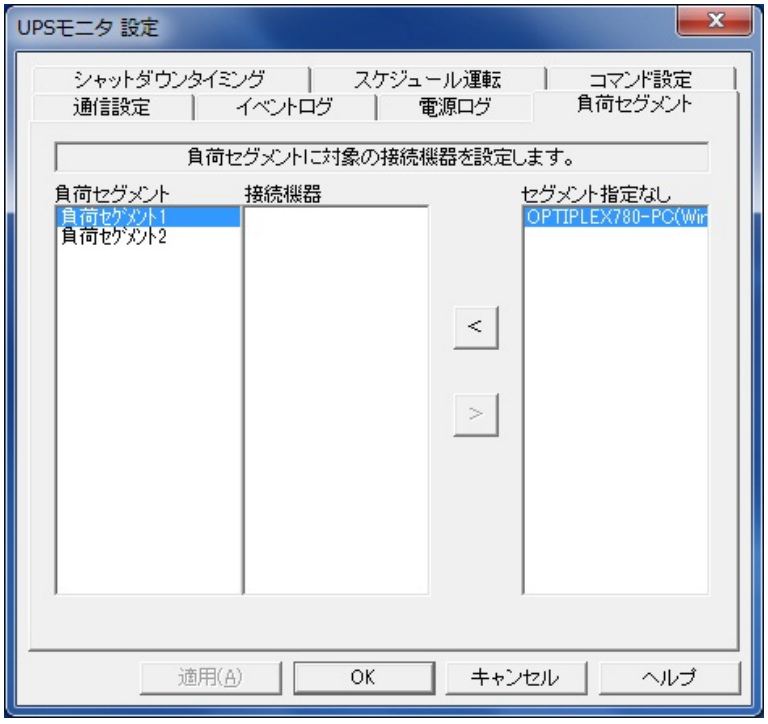
【説明】

■変換したテキストファイルは電源ログファイルと同じフォルダに「yyyymm.txt」のファイル名で出力します。

■複数の電源ログを選択できます。

負荷セグメント

UPS モニタ画面の「ファイル」メニューから「設定」を選択し、「UPS モニタ設定画面」から「負荷セグメント」のタブを選択すると表示されます。



［負荷セグメント画面例］

【機能】

■負荷セグメントに対象の接続機器を設定します。

【操作】

機能名称	動作概要
負荷セグメントリスト	UPS 負荷セグメントを表示・選択します。
接続機器リスト	負荷セグメントに設定されている接続機器を表示・選択します。
セグメント指定なしリスト	セグメントに設定されていない(負荷セグメント全体)接続機器を表示・選択します。
＜ボタン	セグメント指定なしリストで選択した接続機器を、負荷セグメントリストで選択したセグメントへ設定します。
＞ボタン	接続機器リストで選択した接続機器をセグメントから外します。
適用ボタン	設定を保存します。
OK ボタン	設定を保存して画面を閉じます。
キャンセルボタン	設定を破棄して画面を閉じます。
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。

【説明】

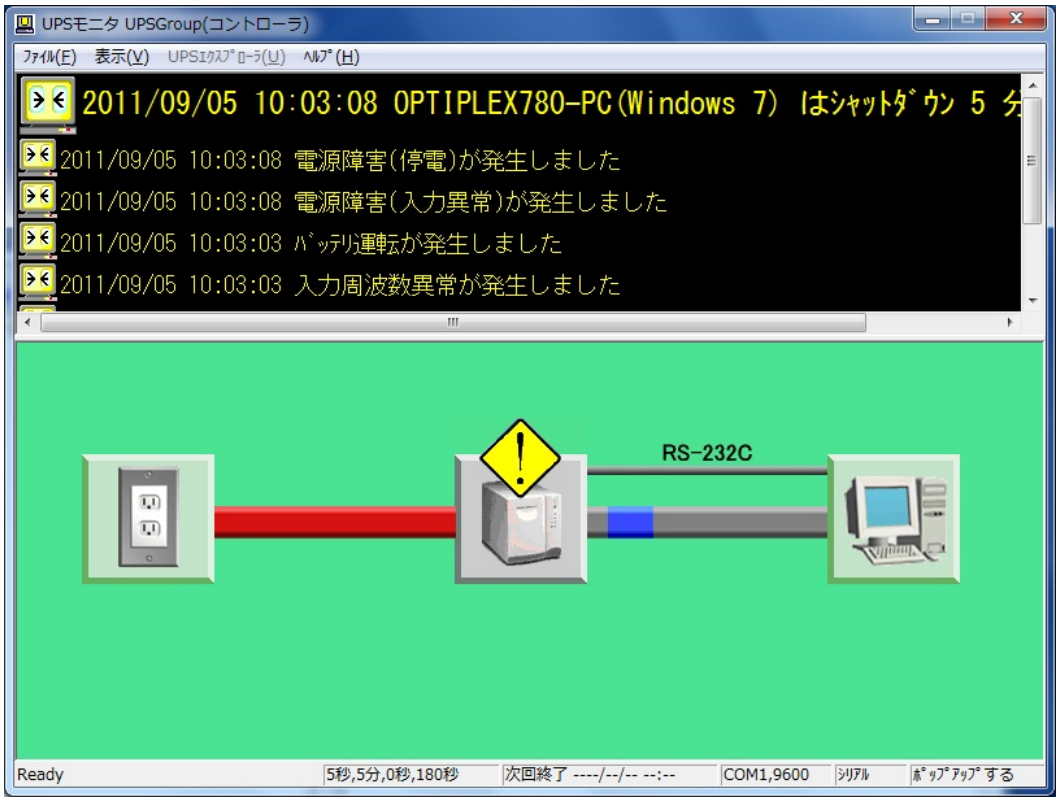
■負荷セグメントの数は接続している UPS によって異なります。

■「適用」ボタンを選択するか、「OK」ボタンを選択して閉じると、設定内容が直に反映されます。再起動する必要はありません。

表示メニューの操作

簡易表示

UPS モニタ(コントローラ)及び UPS モニタ(非ネットワーク)画面の「表示」メニューから、「簡易表示」を選択すると UPS モニタ画面に表示されます。(UPS モニタ(メンバ)はこのメニューを選択することはできません)



［簡易表示画面例］

【機能】

■UPS モニタ(コントローラ)及び UPS モニタ(非ネットワーク)画面の下部に UPS の状態を簡易的に表示します。
電源障害中や UPS の通信ケーブルが接続されていない状態にはそれを通知する絵表示になります。

【説明】

■表示中の図に、UPS の障害時は「！」と表示され、UPS の通信ケーブルが正常に接続されていない場合はコンピュータと UPS 間の RS-232C 部分が赤色表示されます。

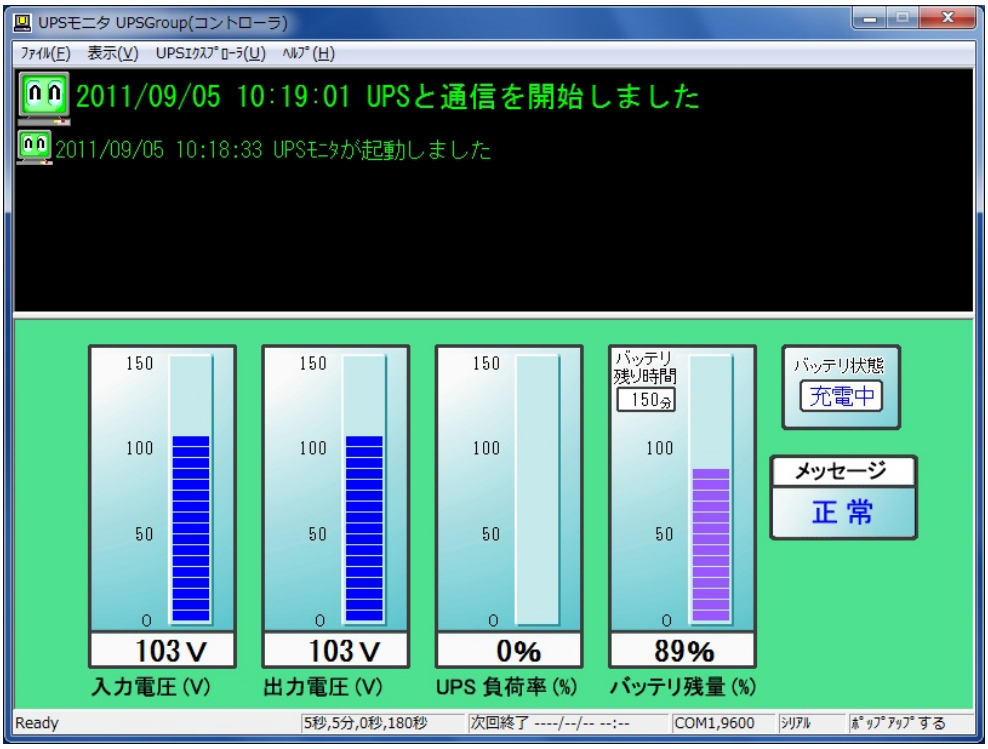
■UPS モニタ(コントローラ)及び UPS モニタ(非ネットワーク)初期起動時は簡易表示画面が表示されます。

注意事項

※UPS モニタ(メンバ)はイベントメッセージのみ表示なので、この機能(簡易表示)を使用できません。

データ表示

UPS モニタ(コントローラ)及び UPS モニタ(非ネットワーク)画面の「表示」メニューから、「データ表示」を選択すると UPS モニタ画面に表示されます。(UPS モニタ(メンバ)はこのメニューを選択することはできません)



［データ表示画面例］

【機能】

■UPS モニタ(コントローラ)及び UPS モニタ(非ネットワーク)画面の下部(イベントメッセージの下)に UPS の電源状態をデータ表示します。

【表示】

表示名称	表示内容
入力電圧	現在の UPS への入力電圧を V(ボルト)表示します。
出力電圧	現在の UPS からの出力電圧を V(ボルト)表示します。
UPS 負荷率	現在の UPS 負荷率をグラフ表示します。
バッテリ残量	現在の UPS バッテリ残量を(%)表示します。
バッテリ残り時間	現在の UPS バッテリ残時間(バッテリ残駆動時間)を表示します。
バッテリ状態	現在の UPS 充電状態を表示します。
メッセージ	現在の UPS 状態を表示します。

【説明】

■入力電圧、出力電圧、UPS 負荷率、バッテリ残量が目盛り表示されます。
バッテリ状態、メッセージ(UPS 状態)がメッセージ表示されます。

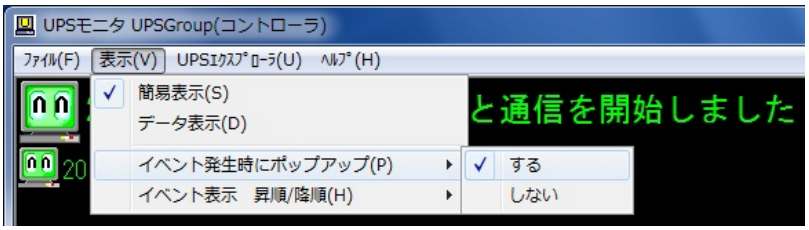
■障害時は、目盛り表示の背景色が黄色や赤色で表示されます。

注意事項

※UPS モニタ(メンバ)はイベントメッセージのみ表示なので、データ表示は使用できません。
※接点方式インタフェースの UPS では、データ表示は使用できません。
※バッテリ情報は、使用環境(負荷条件、周囲温度、バッテリ使用回数、充電状態など)により実際の動作と異なる場合があります。
※UPS によっては、計測していない項目があり、無効表示となる場合があります。

イベント発生時にポップアップ

UPS モニタ画面の「表示」メニューから、「イベント発生時にポップアップ」を選択するか、タスクトレイ上の UPS モニタアイコン上で右クリックで表示されるメニューから「イベント発生時にポップアップ」を選択します。



【機能】

■UPS モニタ画面をイベント発生時にポップアップ表示する/しないの設定をします。

【操作】

プルダウンメニュー

機能名称	動作概要
する	イベント発生時に UPS モニタ画面をポップアップ表示させる場合に選択します。
しない	イベント発生時に UPS モニタ画面をポップアップ表示させない場合に選択します。

【説明】

■ポップアップ表示を「する」に設定すると、イベント発生時に UPS モニタ画面がポップアップ表示されるようになります。

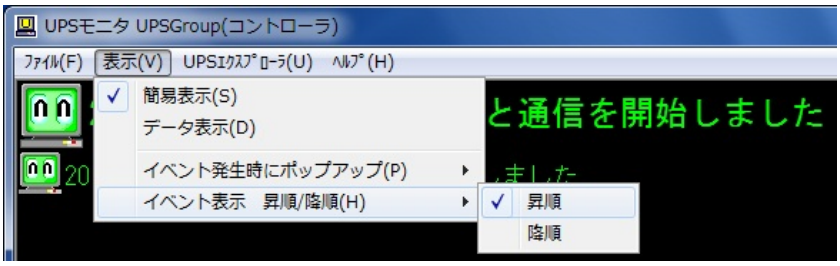
■初期起動時はポップアップ「する」に設定されています。

■プルダウンメニュー上に現在選択されている内容をチェックマーク表示します。

■タスクトレイ上の UPS モニタアイコンを右クリックし表示される、プルダウンメニューからの設定も可能です。

イベント表示　昇順/降順

UPS モニタ画面の「表示」メニューから、「イベント表示　昇順/降順」を選択します。



【機能】

■UPS モニタ画面のイベント表示の昇順・降順の設定をします。

【操作】

プルダウンメニュー

機能名称	動作概要
昇順	イベント表示のメッセージを昇順に表示するときに選択します。
降順	イベント表示のメッセージを降順に表示するときに選択します。

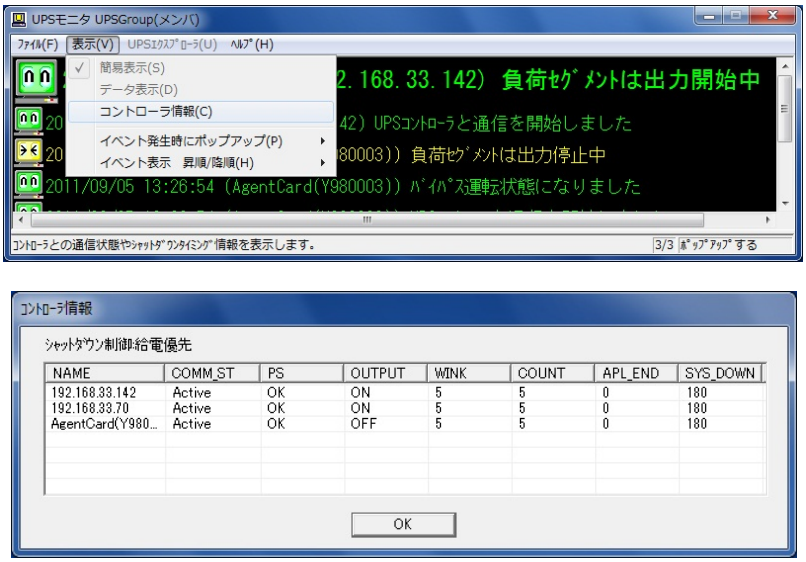
【説明】

■初期起動時はイベント表示「昇順」に設定されています。

■プルダウンメニュー上に現在選択されている内容をチェックマーク表示します。

コントローラ情報

UPS モニタ(メンバ)画面の「表示」メニューから、「コントローラ情報」を選択します。



［コントローラ情報画面例］

【機能】

■UPS モニタ(メンバ)が登録されているコントローラの情報を表示します。

【表示】

表示項目	表示内容
シャットダウン制御	シャットダウン制御情報を表示します。シャットダウン制御情報は次の状態を表します。 “給電優先” “シャットダウン優先”
NAME	UPS コントローラ情報を表示します。
COMM_ST	UPS モニタ(コントローラ)との通信状態を表示します。通信状態は次の状態を表します。 “NotActive”は通信未確立。 “Active”は通信確立中。 “COMM Fail”は通信異常中。
PS	UPS の電源状態を表示します。電源状態は次の状態を表します。 “OK”は正常。(停電未発生中) “PF”は停電中。 “LB”はローバッテリ中。
OUTPUT	UPS のセグメントの出力状態(給電状態)を表示します。セグメント出力状態は次の状態を表示します。 “ON”はセグメントより出力中。 “OFF”はセグメントの出力停止中。 ※UPS コントローラが１台の場合は“-”が表示されます。
WINK	UPS モニタ(コントローラ)側で設定された UPS モニタ(メンバ)自身のウインク時間(秒)を表示します。
COUNT	UPS モニタ(コントローラ)側で設定された UPS モニタ(メンバ)自身の電源障害カウントダウン時間(分)を表示します。
APL_END	UPS モニタ(コントローラ)側で設定された UPS モニタ(メンバ)自身のアプリケーション終了時間(秒)を表示します。 “*”が付与されている場合は、アプリケーション終了コマンドが設定されていることを表します。
SYS_DOWN	UPS モニタ(コントローラ)側で設定された UPS モニタ(メンバ)自身のシステムダウン時間(秒)を表示します。

【説明】

■コントローラ情報ダイアログボックスを表示します。

■UPS モニタ(メンバ)に登録されている UPS コントローラの各種情報を確認する事が出来ます。

注意事項

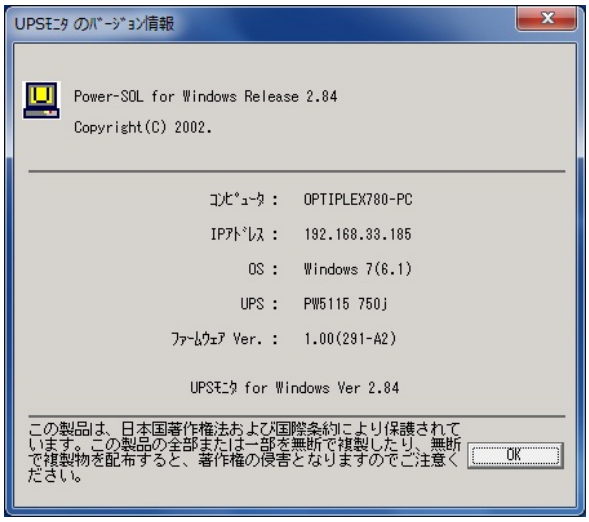
※UPS モニタ(メンバ)のみで使用可能です。

ヘルプメニューの操作

バージョン情報

■UPS モニタ(コントローラ)及び UPS モニタ(非ネットワーク)

画面の「ヘルプ」メニューから、「バージョン情報」を選択すると表示されます。



［バージョン情報画面例］

【機能】

■UPS モニタ(コントローラ)及び UPS モニタ(非ネットワーク)のバージョン情報を表示します。

【表示】

表示名称	表示内容
Power-SOL for Windows Release X.XX	使用中の Power-SOL のバージョンを表示します。
コンピュータ	使用中の UPS モニタをインストールしたコンピュータ名を表示します。
IP アドレス	使用中の UPS モニタをインストールしたコンピュータの IP アドレスを表示します。 ※インストール時にネットワーク ID をコンピュータ名で設定した場合、先頭に「*」が付与されます。 ※UPS モニタ(非ネットワーク)では表示されません。
OS	使用中の OS 名及びそのバージョンを表示します。
UPS	使用中の UPS 名が表示されます。
ファームウェア Ver.	使用中の UPS のファームウェアのバージョンを表示します。 ※この情報は、UPS からバージョン情報を入手できる場合に表示します。
UPS モニタ for Windows Ver X.XX	使用中の UPS モニタのバージョンを表示します。

【説明】

■使用中の UPS モニタ(コントローラ)及び UPS モニタ(非ネットワーク)のバージョン情報及びコンピュータ、UPS 情報を表示します。

■UPS モニタ(メンバ)
画面の「ヘルプ」メニューから、「バージョン情報」を選択すると表示されます。

［バージョン情報画面例］

【機能】
■UPS モニタ(メンバ)のバージョン情報を表示します。

【表示】

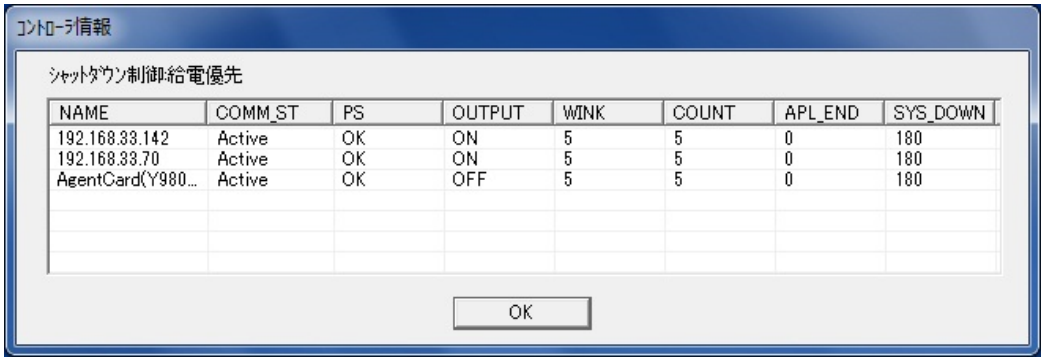
表示名称	表示内容
Power-SOL for Windows Release X.XX	使用中の Power-SOL のバージョンを表示します。
コンピュータ	使用中の UPS モニタ(メンバ)をインストールしたコンピュータ名を表示します。
IP アドレス	使用中の UPS モニタをインストールしたコンピュータの IP アドレスを表示します。 ※インストール時にネットワーク ID をコンピュータ名で設定した場合、先頭に「*」が付与されます。
OS	使用中の OS 名及びそのバージョンを表示します。
コントローラ情報 1～4	使用中の UPS モニタ(メンバ)が所属する UPS グループの UPS コントローラ情報を表示します。(最大 4 つまで)
UPS モニタ for Windows Ver X.XX	使用中の UPS モニタ(メンバ)のバージョンを表示します。

【説明】
■使用中の UPS モニタ(メンバ)のバージョン情報及びコンピュータ、UPS コントローラの IP アドレスを表示します。

マルチコントローラ機能

UPS モニタ(メンバ)のインストール時、または、インストール後に複数の UPS コントローラの設定を行うと自動的に動作します。
この機能は設定された複数の UPS コントローラから情報取得を行い、その情報と設定された制御方法に従い、UPS モニタ(メンバ)自身の制御を行います。
冗長電源サーバなど機器において複数の電源を保有し、それぞれ別の UPS から給電するような場合に本機能を使用します。

［簡易表示画面例］



［コントローラ情報表示画面例］

【機能】

■最大 4 つまで UPS コントローラを指定することができます。

■2 種類の制御方法を選択できます。

・給電制御(デフォルト)は可能な限り、機器の動作を継続させる方法です。複数台の UPS のうち、1 台でも給電継続可能な UPS が存在すれば、機器への給電を継続させます。

・シャットダウン制御は、より安全に機器をシャットダウンさせる方法です。複数台の UPS のうち、1 台でも電源障害を検出した場合、機器のシャットダウンを実施する準備を開始します。

注意事項

※UPS の動作状態やシャットダウンタイミングの設定値によっては、電源障害等によるシャットダウン実施後、電源障害が回復しても機器が自動で起動できない場合があります。

※マルチコントローラ機能を使用する場合、UPS コントローラは下記のバージョンを使用してください。

Network Agent Card ：ONLINE SOFTWARE のバージョン 4.10 以上
UPS モニタ(コントローラ) ：UPS モニタ For Windows Ver 2.40 以上
：UPS モニタ For Linux Ver 1.10 以上

【表示】

■UPS モニタ(メンバ)画面

「UPS モニタの基本操作」を参照してください。

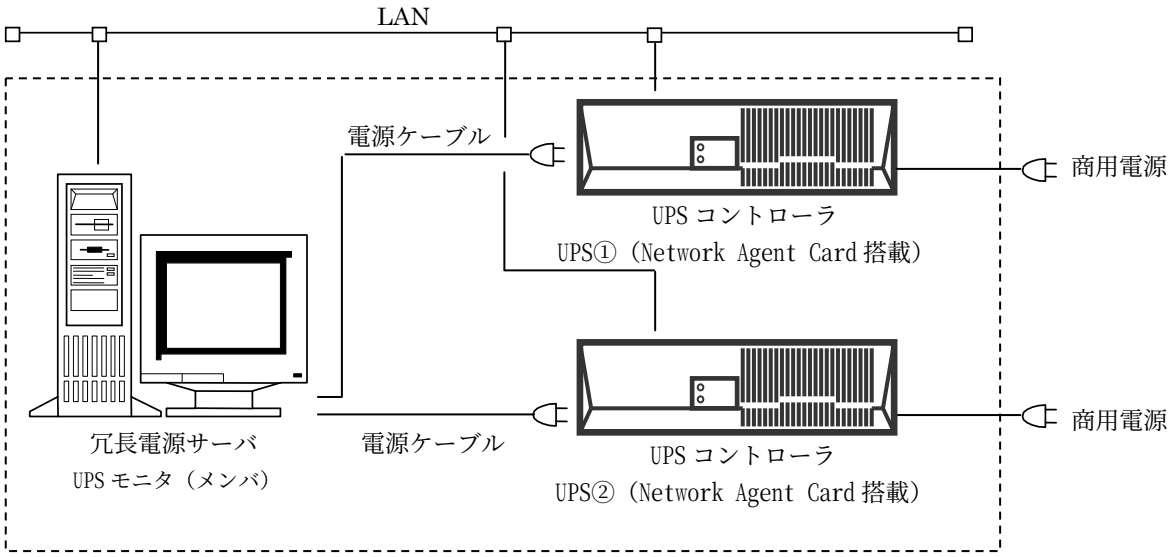
■コントローラ情報表示画面

「表示メニューの操作/コントローラ情報」を参照してください。

【説明】

■冗長電源サーバなどで、電源毎に UPS を使用して運用する場合に本機能を使用します。

■本機能は各 UPS で Network Agent Card を使用している場合や、各 UPS で UPS モニタ(コントローラ)を使用している場合に使用できます。



マルチコントローラ機能使用時のシステム構成例(Network Agent Card2 台を使用)

本機能を使用するためには、UPS モニタ(メンバ)インストール時、または、インストール後に UPS コントローラの情報を全て設定する必要があります。
また、その際に制御方法を指定することできます。
制御方法は給電制御(デフォルト)とシャットダウン制御の 2 種類あります。
給電制御は、

- 電源障害時等は給電継続する UPS が 1 台でも存在すれば、可能な限り動作を継続するような制御を行います。
- スケジュール運転時は、UPS モニタ(コントローラ)を使用した場合は電源障害時と同様の動作になります。但し、Network Agent Card を使用した場合は 1 台でもスケジュール停止を受けたならばシャットダウンを行います。
- シャットダウン/リブート指示があった場合は、直ちにシャットダウンします。

シャットダウン制御は、

- 電源障害時等は 1 台でも給電を停止する UPS が存在すれば、それに従い、シャットダウンを行います。
- スケジュール運転時も電源障害時と同様の動作になります。
- シャットダウン/リブート指示があった場合は、直ちにシャットダウンします。

注意事項

※Network Agent Card を UPS コントローラとして使用し、停電やスケジュール運転で UPS モニタ(メンバ)がシャットダウンを実施した場合、システムがダウンするまでの時間中に手動で UPS モニタ(メンバ)のコンピュータを再起動させると、Network Agent Card との接続時、UPS モニタ(メンバ)のコンピュータは、シャットダウン処理を行います。

本機能の設定方法はインストール時とインストール後の設定があります。

■インストール時の設定

・インストール時のマルチコントローラ関連の設定は、UPS コントローラ情報および制御方法の各設定が行えます。
・マルチコントローラの対象となる UPS コントローラ情報を設定してください。
・制御方法は給電制御、シャットダウン制御のいずれかから選択してください。

注意事項

※インストール時のマルチコントローラ機能の設定方法については、**インストール編「UPS モニタ(メンバ)のインストール」**を参照してください。

■インストール後の設定

・UPS コントローラ設定ツールを使用して設定を行います。
・「スタート」－「すべてのプログラム」－「Power-SOL」－「UPS コントローラ設定ツール」を選択し、起動させます。
・UPS コントローラ設定ツールの操作方法は「**UPS コントローラ設定ツールの操作**」を参照してください。

UPSコントローラ設定ツールの操作

UPS モニタ(メンバ)をインストールした場合のみ、UPS コントローラ設定ツールを使用することができます。
UPS コントローラ設定ツールは、UPS モニタ(コントローラ)の追加・変更を GUI による操作で行うことができます。

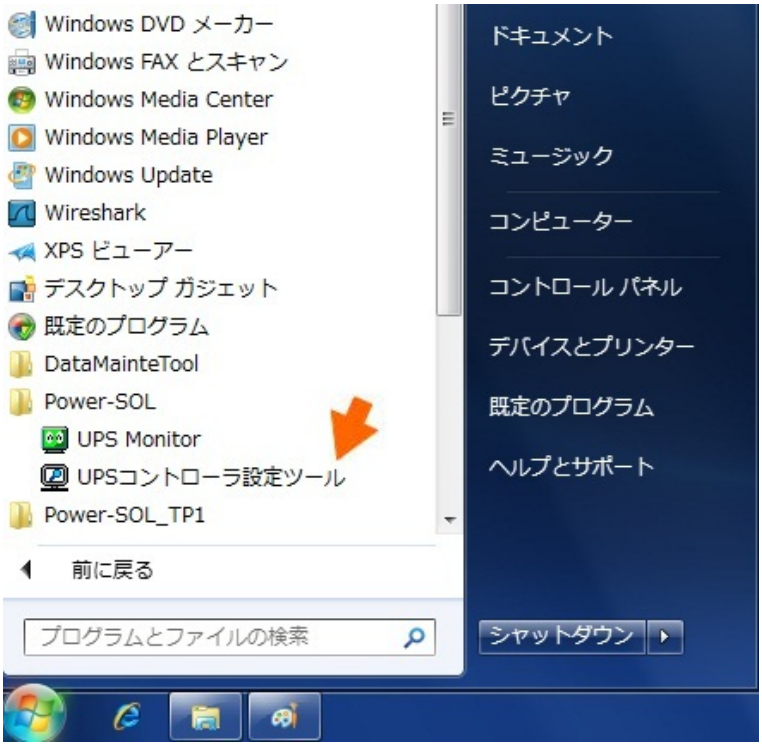
注意事項

※UPS コントローラ設定ツール操作中は UPS モニタ(メンバ)を一時的に停止します。UPS コントローラ設定ツール操作中は停電時の自動シャットダウン、スケジュール運転によるシャットダウン等が行えまえせんので注意してください。UPS コントローラ設定ツールの操作が完了すると UPS モニタ(メンバ)は自動的に起動します。

UPSコントローラ設定ツールの起動

■UPS コントローラツールの起動方法

・「スタート」－「すべてのプログラム」－「Power-SOL」－「UPS コントローラ設定ツール」を選択し、起動させます。



UPSコントローラ設定ツールの操作方法

■UPS コントローラ設定ツールの基本操作

・UPS コントローラ設定ツールを起動させると、次の画面が表示されるとともに UPS モニタ(メンバ)が停止します。

[UPS コントローラ設定ツールのメイン画面の表示例]

・UPS コントローラ設定ツールでは次のことが行えます。

(1) IP アドレス入力による UPS コントローラ情報の追加・変更
(2) 検索による UPS コントローラ情報の追加・変更
(3) コンピュータ名(ホスト名)による UPS コントローラ情報の追加・変更
(4) UPS コントローラ情報の削除
(5) シャットダウン制御の設定

■IP アドレス入力による UPS コントローラ情報の追加・変更

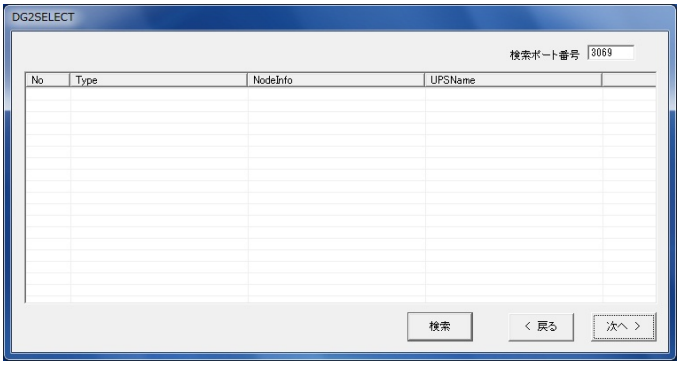
・UPS コントローラ情報を追加する場合は、UPS コントローラ設定ツールのメイン画面上で、追加したい UPS コントローラ 1～4 の IP アドレス入力欄に直接 IP アドレスを入力します。

・UPS コントローラ情報を変更する場合、変更を行う UPS コントローラ 1～4 の右にある「削除」ボタンを選択し、UPS コントローラ情報を削除します。削除後、IP アドレス入力欄に IP アドレスを入力します。

■検索による UPS コントローラ情報の追加・変更

・UPS モニタ(コントローラ)または Network Agent Card を検索して追加・変更を行う場合は、追加・変更を行う UPS コントローラ 1～4 いずれかの「検索」ボタンを選択します。選択すると検索画面が表示されます。

・検索画面で検索を行うポート番号を設定し、「検索」ボタンを選択すると、UPS モニタ(コントローラ)および Network Agent Card の検索を開始します。

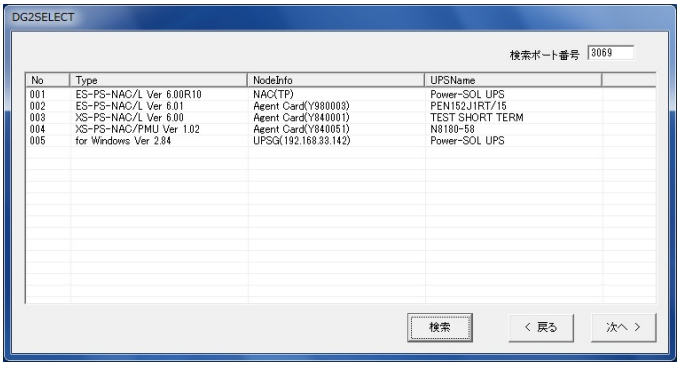


[検索画面の表示例(検索前)]

・検索が完了すると、検索された UPS モニタ(コントローラ)および Network Agent Card のリストが表示されます。任意のノード情報を選択し、「次へ」ボタンを選択します。

・UPS コントローラ設定ツールのメイン画面上で設定されていることを確認します。

・対象となる UPS モニタ(コントローラ)および Network Agent Card が検索されなかった場合、検索ポート番号を変更し、再検索を行うか、「戻る」ボタンで「UPS コントローラ情報およびシャットダウン制御情報設定」画面に戻り、IP アドレス設定またはホスト名設定を行ってください。



[検索画面の表示例(検索後)]

※検索対象のネットワークはサブネット内に限定されます。サブネットを越える検索は行えません。

■コンピュータ名(ホスト名)による UPS コントローラ情報の追加・変更

・UPS コントローラ情報をコンピュータ名(ホスト名)で追加・変更を行う場合は、追加・変更を行う UPS コントローラ 1～4 いずれかの「Host 名」ボタンを選択します。選択するとホスト名入力画面が表示されます。

・コンピュータ名(ホスト名)を入力したら、「次へ」ボタンを選択します。

・UPS コントローラ設定ツールのメイン画面上で設定されていることを確認します。

[ホスト名入力画面の表示例]

■UPS コントローラ情報の削除

・UPS コントローラ情報の削除を行う場合は、削除を行う UPS コントローラ 1～4 いずれかの「削除」ボタンを選択します。

・表示されていた UPS コントローラ情報が削除され、「削除」ボタンが無効表示になります。

■シャットダウン制御の設定

・UPS コントローラ情報を 2 つ以上設定した場合、シャットダウン制御の選択をしてください。デフォルトは給電優先となっています。

・シャットダウン制御の制御方法は**機能/概要編「UPS モニタ(メンバ)のマルチコントローラ機能」**で詳しく説明していますので、こちらで確認してください。

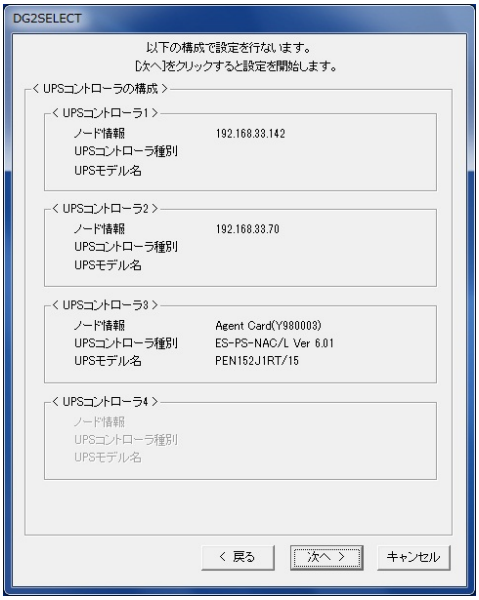
[メイン画面の表示例(UPS コントローラ情報複数設定時)]

■設定の完了と UPS コントローラ設定ツールの終了

・UPS コントローラ情報の設定が完了したら、UPS コントローラ設定ツールのメイン画面の「次へ」ボタンを選択します。

・設定内容確認画面が表示されます。設定内容が正しければ「次へ」ボタンを選択します。設定完了画面が表示されますので、「OK」ボタンを選択します。その後、UPS モニタメンバが自動起動します。

・設定内容確認画面で間違いを見つけた場合は「戻る」ボタンを選択してください。メイン画面に戻ります。



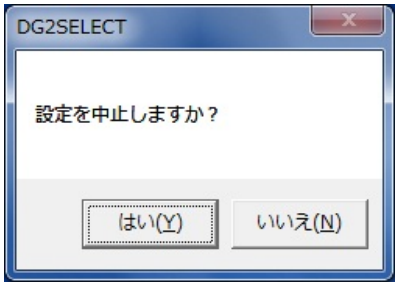
[設定確認画面の表示例]

[設定完了画面]

■設定のキャンセル

・UPS コントローラ情報設定ツールのメイン画面の「キャンセル」ボタンを選択するか、設定内容確認画面の「キャンセル」ボタンを選択してください。

・設定中止の確認画面が表示されますので、キャンセルする場合は「はい」ボタンを選択してください。設定操作がキャンセルされ、UPS モニタ(メンバ)が自動的に起動します。(設定中止確認画面で「いいえ」ボタンを選択すると設定操作を継続します。)



[設定中止確認画面]